

地域グリーンニューディール基金事業計画書(全体) 事業個表

| | | | | | |
|------------|--------|--|--------|--------|--------|
| 事業番号 | | 7000015 | | | |
| 事業メニュー区分 | | (1)①公共施設省エネ・グリーン化推進事業 | | | |
| 事業の名称 | | 大玉村農村環境改善センター省エネルギー化推進事業 | | | |
| 事業の主たる実施場所 | | 大玉村農村環境改善センター | | | |
| 事業の目的・概要 | | <p>大玉村の役場施設(教育委員会)であり、かつ村民が多く利用する農村環境改善センターにおいて省エネエアコンを導入し、これまでの空調運転の集中管理運転から個別運転にするとともに、より省エネ効果を高めるための遮光フィルムを導入して複合的に整備(遮光フィルムは同施設と同一敷地内の大玉村歴史民俗資料館に一体的整備)することで、エネルギー消費量の減少による温室効果ガス排出削減と、村民の意識啓発を図る。</p> <p>導入後においては、広報誌等による啓発、利用者への説明のほか、大玉村立玉井小学校4～6年生を対象に当該施設で本年9月から実施の「放課後こども教室」において環境教育を行うなど、村民の環境保全意識の向上を図る。</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネエアコン設備導入・改修工事1式(29基)(農村環境改善センター) ・遮光フィルム貼付 1式(207.15㎡) <p>(うち農村環境改善センター 133.36㎡ 歴史民俗資料館 73.79㎡)</p> | | | |
| 事業実施の方法・内容 | | ・補助事業(大玉村への補助により実施) | | | |
| 事業費の算出根拠 | 年度 | 合計 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
| | 総事業費 | 23,100 | 23,100 | 0 | 0 |
| | 補助金所要額 | 23,100 | 23,100 | 0 | 0 |
| | 算出根拠 | <ul style="list-style-type: none"> ・省エネエアコン導入・改修工事 23,100千円 (内遮光フィルム貼付工事 1,517千円) <p><省エネエアコン内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械設備直接工事 10,161,034円 ・天井埋込形エアコン(2,170,000円) 91,000円×2台、82,000円×1台、63,000円×2台、61,000円×1台、61,000円×4台、100,000円×2台 83,000円×1台、75,000円×6台、73,000円×4台 75,000円×4台、75,000円×2台 ・室外機(2,774,000円) 523,000円×1台、313,000円×1台、313,000円×1台、500,000円×1台、330,000円×1台、250,000円×1台、185,000円×2台、175,000円×1台 ・冷媒管配管工事 2,445,640円 ・機器搬入、撤去、産廃処理 2,771,394円 ○電気設備直接工事 5,947,974円(受変電設備、空調機盤設置等) ○建築直接工事 2,918,470円(遮光フィルム貼付、解体・撤去、復旧・改修) ・遮光フィルム貼付工事 1,445,450円 ・天井材撤去、産廃、養生 1,473,020円 <p>直接工事費計 19,027,478円＋共通費 2,972,522円＝ 22,000,000円</p> <p>合 計 22,000,000円×1.05＝ 23,100,000円</p> | | | |

地域グリーンニューディール基金事業計画書(全体) 事業個表

| | | | | | |
|--|---------------|---|--------|--------|--------|
| 事業番号 | | 7000015 | | | |
| 事業メニュー区分 | | (1)①公共施設省エネ・グリーン化推進事業 | | | |
| 事業の名称 | | 大玉村農村環境改善センター省エネルギー化推進事業 | | | |
| 事業効果の算出根拠 | 年度 | 合計 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
| | CO2削減効果 (t/年) | 25.0t | 25.0t | — | — |
| | | (1)冬季のボイラー使用がなくなることでA重油使用量相当のCO2削減が図られる。 A重油使用実績 $8,000\text{kg} \times 2.71 = 21,680\text{kg-CO}_2$ (2)夏季の空調使用の効率化(インバータ化及び個別運転)による削減効果、遮光フィルムによる室内適温管理効果、冬季の運転の相殺により、年間8%削減を見込む。 電気年間使用量 $88,800\text{kWh} \times 0.08 \times 0.473 = 3,360\text{kg-CO}_2$ 合 計 25,040kg-CO2 | | | |
| | | 雇用効果(人/年) | 4 | 4 | — |
| 事業実施スケジュール | | <平成21年度> 工事施工 | | | |
| 他の国庫補助制度がある場合その名称 | | なし | | | |
| 自治体独自の既存補助制度がある場合その名称(概要のわかる資料を添付すること) | | なし | | | |
| 備考 | | ・総事業費と補助金所要額の差額については、村の一般財源を充当する予定であること。 | | | |